



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp>

<No.60>

4号館完成



4号館が完成し、3学期より利用が始まりました。2014年4月に新校舎ができるまでは高校教室棟として、新校舎完成後は新しい学友会館として生まれ変わる予定になっています。

また、本館校舎・体育館は順次解体に向けて工事が始まりました。

今号では、4号館の紹介と12月に行われた「本館校舎・体育館お別れ会」の様子をお伝えします。

チャペルだより

4号館 定礎

この度、待望の4号館が完成し使用が開始された。4号館は来春まで高校教室棟として、新しい本館が完成した後は学友会館として使用される予定となっているので、この建物は単なる代替校舎ではなく、相当期間、多くの生徒たちによって使われていくことになる。

4号館の定礎として選ばせていただいた言葉は、『強く、また雄々しくあれ』（申命記第31章7節）である。これは、40年にわたる出エジプトの終盤、指導者モーセが自分の命を終えようとする直前に、後継者ヌンの子ヨシュアへ自らの使命を託した言葉である。

聖書の記述によれば、モーセは60万人の人々を引き連れてエジプトを脱出し、40年間目的地カナンを目指し旅を続けた。モーセの生き方は、立教建学の精神であるウイリアムズ主教の「道

を伝えて己を伝えず」の生き方そのものであった。

モーセは目的地に足を踏み入れることを神から許されなかった。それを自らの不信仰の故と受け止めたモーセは、不平一つ言わず、「道を伝えて己を伝えず」の生き方を継ぐ者としてヨシュアに『強く、また雄々しくあれ』と言ったのだ。

ヨシュアはこの言葉を忠実に守り、人々は多くの困難を乗り越えてカナン定住を成し遂げ、半遊牧民から農耕民族へと変化していきながら、部族連合国家を作り上げていくことになった。

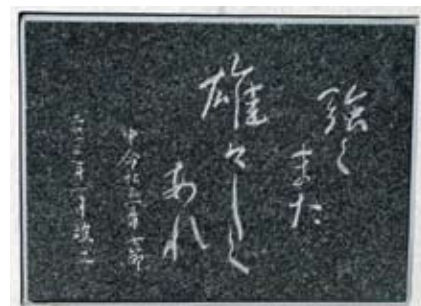
このように「多くの苦難を乗り越え、忍耐を経て、強くまた雄々しくあれ」との言葉は、立教の建学の精神を支える重要な聖句であり、その力強さを現わす言葉であると言えよう。

4号館でこれから学ぶ生徒たち、そして学友会館として使用していく生徒たちに、本当の強さとは何かを考えてもらいたいと思う。学力が優秀である、部活が強豪で試合成績が優秀である、

もちろんこれは素晴らしいことであるが、『強く、また雄々しくあれ』という言葉は単にそれにとどまらず、人の生き方そのものにかかわるものとして胸に迫ってくる。まさに私たち一人一人の生き方が問われているのではないだろうか。立教建学の精神を改めて学ぶと共に、雄々しく生きるという、現代を生きるすべての者への課題を、私たちもしっかりと受け止めていきたいものである。

4号館で過ごすすべての生徒たちの上に、神の祝福と導きが豊かにありますように。

チャプレン 鈴木 伸明



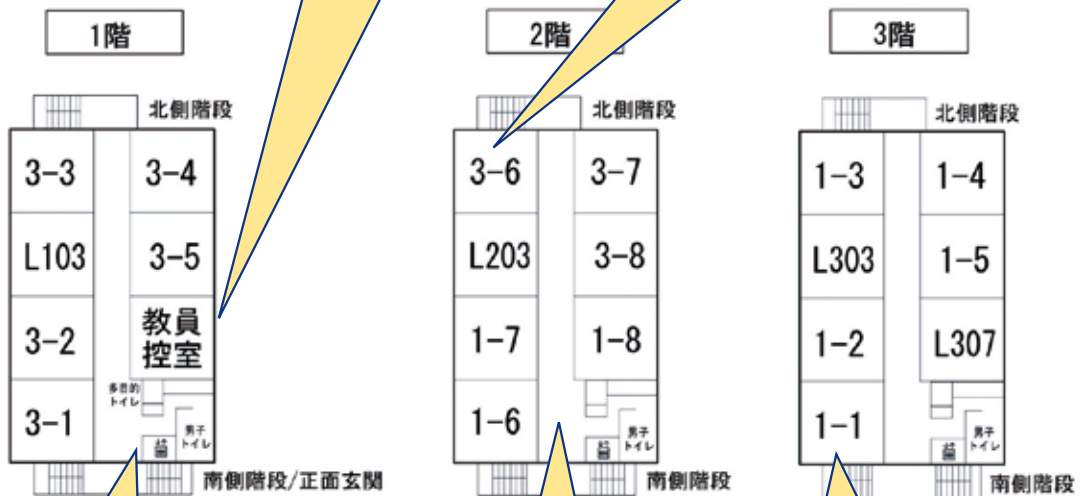
4号館紹介



4号館にある教員控室です。生徒部としての役割も備えています。



4号館は、将来学友会館として利用される予定です。教室もいくつかに分けて部室として利用をできるように工夫がされています。



バリアフリー対応として、1階には多目的トイレ（通常は女子トイレとして使用）とエレベーターを設置しています。



両側に教室があるため、廊下は広く設計されています。



最大50名までは収容可能な広さがあります。もちろん、冷暖房完備です。



注釈：L103、L203、L303、L307は選択教室。

竣工式

12月22日(土)に4号館の竣工祝福式が執り行われました。あいにくの雨のため、式の前半はチャペルで礼拝を献げ、その後4号館に移動し、チャプレンを先頭に各階、各部屋を回って、香と聖水を用いて祝福を行いました。

多くの工事関係者と本校教職員が参加し、4号館の施設利用のスタートを祝いました。



引っ越し

1月8日(火)に3学期始業式が行われました。この日から高校1年生と3年生は4号館、2年生は本館の一部と図書館教室をホームルーム教室とする学校生活が始まりました。4号館を使用する生徒からは「すごくきれいだな」という声も多く聞こえてきましたが、自分の教室が何階のどこにあるのかわからなかったりして、新しい環境に少し戸惑う姿も見受けられました。



本館校舎・体育館お別れ会

本校では建設計画がまとまり、2014年4月竣工予定で本館校舎・体育館を建て替えることになりました。本館校舎については1960年に建設され約50年、体育館については1974年に建設され約40年が経過し、その間、多くの卒業生がその歴史を刻んできた施設ですが、2013年1月より順次解体工事が始まっています。

この解体工事の前に、卒業生と在校生がともに本館校舎・体育館との別れを惜しみ、交流を深める機会をもちたいということで、学友会（本校高等学校の生徒会の呼称）の生徒から、「本館校舎・体育館お別れ会」の企画が提案され、学校協力のもと実現しました。

会当日の12月22日(土)には、本館校舎が出来上がった頃の卒業生から近年卒業した卒業生まで、多くの卒業生が来校されました。

懐かしい教職員と再会したり、当日偶然に旧友と再会できたりして、「久しぶりだな～」と各所で声が上がり、OBも生徒時代に戻ったように盛り上がりました。学友会で企画した「キャンパスツ

アー」なども大盛況で、案内・説明をする生徒と卒業生がキャンパスの思い出を語りながら歩き進むなど、在校生と卒業生の交流も深まりました。参加者一同の記念撮影では、登校していた在校生も混じり、ロータリーが埋まるほどの大人数になりましたが、本館校舎を背景に思い出の一枚を撮ることができました。最

後に行われた感謝礼拝では、昨年度まで本校教諭として勤務され、ご自身も卒業生である澁谷壽氏より生徒の時の思い出など貴重なお話を伺うこともできました。

一人ひとりの思い出の詰まった本館校舎・体育館との、心温まるお別れ会を、賑やかに行うことができました。

当日実施したプログラム

- **モザイクアートの作成** 参加者（在校生、卒業生）の顔写真を撮影し、本館校舎をかたどったモザイクアートを作成しました。現在、新校舎建設中のフェンスに掲示してあります。
- **キャンパスツアー** 2002年には中学棟である2・3号館、2010年にはセントポールズ・ジムが完成するなど、変わっていく本校キャンパスの今を知る見学ツアー。在校生による案内と説明を行いました。
- **メッセージルーム** 本館校舎・体育館へのメッセージを教室内の壁紙に書き込みました。
- **学友会展示** 本校の刊行物（学校関係、学友会関係）の展示、配布。学友会活動報告等の展示をしました。
- **記念品販売（DVD・学友会作成クリアファイル等）** 本館校舎・体育館の写真や会当日の写真などを入れたDVDと学友会にて作成しているクリアファイルを販売しました。収益の一部を東日本大震災被災地への献金とします。
- **一同記念撮影** ● **本館校舎・体育館感謝礼拝**

学友会 実行委員長 感想

高校学友会では、昨年12月21日・22日の両日「本館さよならイベント」を行いました。21日には在校生のイベント、22日には、OBの方々と、「本館校舎・体育館お別れ会」を、学校と高校中央執行委員会による共同主催で実施しました。学内に教職員の方々と学友会本部の委員で成る実行委員会が設置され、OBの方々への呼びかけからキャンパスツアー、一同記念撮影、本館校舎・体育館感謝礼拝等、多くの企画が話し合われました。慣れ親しんだ本館校舎を取り壊すということで、何か記念になるようなイベントをしようと思ったのがきっかけで、昨年の夏頃から高校中央執行委員会で企画を考案し始めました。本館を使って映画を撮ろうという壮大な案もありましたが、最終的には本館内の至るところを360°撮影すること、在校生・OBの姿が写った写真で本館校舎のモザイクアートを作ること、OBの方々と本館に迎え入れてキャンパスツアーを行うことなどを提案しました。22日には3年7組の教室後部の壁一面に壁紙を貼って頂き、メッセージルームを設けたのですが、イベント終了後に見渡してみると、この本館校舎の長い歴史や、やはり多くの卒業生・教職員の方々があつての自分達だなどということを感じることができました。このイベントを共に考え、進めてきた実行委員会の方々、中央執行委員会のメンバー、そして全ての在校生、OB・教職員の方々に感謝したいと思います。

3年6組 柴山 秀太



モザイクアート
1つ1つの写真がパーツとなり、本館校舎をかたどっています。

キャンパストピックス

『高円宮杯全日本中学校英語弁論大会出場』

僕は去年の秋、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に出場しました。新座市大会→朝霞地区大会→埼玉県大会→全国大会という5ヶ月以上の長い長い道のりではありましたが、そこから学んだことは数え切れないほど多いです。英語に対する思いがガラッと変わったように思います。新座市大会の頃の意気込みと、県大会決勝や全国大会予選の時の意気込みは全く変わりました。大会一つでここまで自分が成長出来たと思えたのは今回が初めてのことでした。全国大会予選では悔

しいことに勝ち抜くことは出来ませんでした。ここまで来ることが出来たのも先生方の協力のおかげです。とても感謝しています。また、この大会を通じて僕が一番強く感じた事は何事も“Try to win”（勝とうとする）のではなく、“Try to ENJOY”（楽しもう）ということだと思っています。皆さんにもそういうふう考えて何事にも取り組んでほしいと思います。最後に、一言皆に、ありがとうございました。Thank you!

3年B組 田中 来武

『全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会出場』

僕はこの度、関東地区小倉百人一首かるた大会に埼玉県代表として出場しました。この大会は1都6県の代表各8名がチームを編成して戦う団体戦です。この大会では準決勝で負けてしまいましたが、3位決定戦で勝つことができ、皆が目標としていた3位にもなることができました。

この大会は競技かるたというスポーツの大会ですが、多くの人にとって馴染みがないものだと思うので、競技かるたについて説明したいと思います。僕が元々かるたを始めたのは中学3年生の終わり頃、当時部活に行き詰まっていた僕は、

自分の全く知らない世界で一からやり直したいと思い、かるたを始めました。かるたは50枚の札を取り合う競技ですが、かるたにとって一番大事なのは集中力です。少しでも気を抜くとミスをしてしまい、勝つことが難しくなってしまいます。負けた時は自分の存在を否定されたかのように悔しいですが、勝った時は叫びだしたい程嬉しく、かるたを今までやってきてよかったという気持ちにさせてくれます。

僕はそんなかるたをもっともっと好きになり、もっと上手になりたいと思います。

2年2組 高橋 東亜

イルミネーション点灯式

クリスマス実行委員会活動を終えて

12月10日に、イルミネーション点灯式が行われ、立教新座中高主催のクリスマスイベントを無事に終えることができました！皆さん、いかがでしたか？

第62回S.P.F.を終えてから活動を開始したクリスマス実行委員会でしたが、S.P.F.のテーマ「Re:make」、こちらの方も改革しないとあつ焦っていました。有志委員も募集をかけましたところ、百人を超える大変な人気で、セントポールズ・スタジオにて会議を行なったのですが、圧倒されました。自分がこんな人数をまとめることができるだろうか、と不安が募るばかりでした。でも私自身の仕事は点灯式の司会だけで、中執のみなさんにも頼ってもらえず、悔しくて雑用でもなんでもやろうと点灯式に臨みました。

まず例年と違う点は、全学年試験後という日程で、多くの生徒の皆さんに参加してもらえると見込み、さらに「沢山の人に来てもらいたい！」と思い、ポストカードを配布する提案をしました。とても寒い中、志木、朝霞台、新座の各駅で配布を行い、1,400枚ものポストカードを配布することができました！そして新企画のチャペルでのライブ。チャプレン方と交渉し、なんとかチャペルでのライブの時間を調整して頂き、実現することができました。各団体共に素晴らしい演奏でした。

チャペルでのライブ、そして礼拝を終えると、ロータリーに埋めつくされたキャンドルが私を迎えてくれました。クワイヤーと「きよしこの夜」を歌い、ついにカウントダウン。最高の景色でした。皆さん、ありがとうございました。

クリスマス実行委員会委員長 3年3組 浅野 力



行事予定～中学校～

| | |
|---------|---------------------------|
| 1/25(金) | 中学校入試第1回・帰国児童入試 |
| 26(土) | 中学校入試第1回・帰国児童入試合格発表 |
| 28(月) | 中学校入試第1回・帰国児童入試入学手続(～2/2) |
| 2/2(土) | 中学校入試第2回窓口出願 |
| 3(日) | 中学校入試第2回 |
| 4(月) | 中学校入試第2回合格発表・入学手続 |
| 8(金) | マラソン大会 |
| 11(月・祝) | 中学校入学予定者・保護者登校日 |
| 16(土) | 中学校入学予定者心電図聴力検査 |
| 26(火) | 中学3年期末試験(～28日) |
| 3/4(月) | 中学1・2年期末試験(～6日) |
| 15(金) | 卒業式 |
| 19(火) | 終業礼拝 |
| 20(水) | 春季休業(～4/7) |
| 4/8(月) | 入学式 |
| 9(火) | 始業式 |

行事予定～高校～

| | |
|---------|-----------------------|
| 1/28(月) | 高校推薦入試・地域指定校制推薦入試入学手続 |
| 2/1(金) | 高校一般入試 |
| 2(土) | 高校一般入試合格発表 |
| 7(木) | 高校一般入試入学手続 |
| 8(金) | マラソン大会 |
| 23(土) | 高校1・2年学年末試験(～28日) |
| 3/9(土) | 高校入学予定者教科書販売日 |
| 14(木) | 卒業式 |
| 18(月) | 高校1・2年英語スピーチコンテスト |
| 19(火) | 終業式 |
| 20(水) | 春季休業(～4/7) |
| 4/8(月) | 入学式 |
| 9(火) | 始業式 |

Campus News Rikkyo Niiza 第60号

編集：立教新座中学校・高等学校
 教務・入試広報課
 発行：立教新座中学校・高等学校
 〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25
 ☎048-471-2323(代表)